那珂組　門徒推進員だより

領解 Ryouge

第２号
令和５年６月１日

発行責任者
那珂組門徒推進員連絡協議会
代　表　原　京子
事務局　専宗寺
福岡市博多区青木 1-13-20
（０９２）６１１－７５４１

那珂組門徒推進員連絡協議会総会開催される

令和五年二月十一日(土)浄運寺(春日市)にて、第二十三回那珂組門徒推進員連絡協議会総会が、コロナ感染対策を施して開催されました。

出席者数は二十一名でした。

高﨑隆一副代表の司会進行で総会が開催されました。渡辺護さんの調声により参加者全員で、「讃仏偈の勤行」、その後、「真宗宗歌」、「浄土真宗の救いのよろこび」を唱和しました。

原京子世話人代表の挨拶の後、総会・議事審議が行われました。

令和四年度の活動報告、決算報告、令和五年度の行事計画、予算案の説明がなされ、原案通り承認されました。

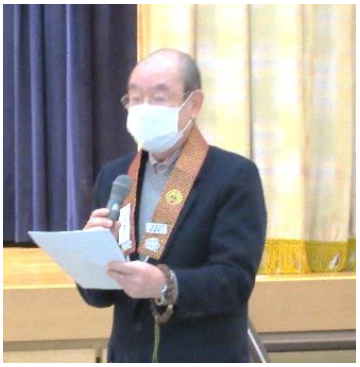
また、各部会から活動経過が報告されました。昼食時には、各部会で集まり、情報交換、意見交換を行いました。

休憩の後、浄運寺白山義章住職による法話を拝聴しました。

白山住職は小学校の PTA 会長として長年にわたり地域活動に関わってこられました。その経験から、「これからは、お寺が抱える課題について、住職、坊守、門信徒、門徒推進員が、それぞれが主体的に取り組むことが必要です。門徒推進員は仏法に出会う機会を作る働きを持っている。活動は大変さが付きまとうが、その先に喜びがある。」と話されました。

参加者全員で「讃仏偈」のお勤め
調声　渡辺さん

総合司会及び総会議事進行担当の
高﨑副代表



会員の近況報告・
門推は永久会員と
挨拶の原代表

浄運寺　白山住職　法話

昼食時間を利用して
各部会情報交換

身施（寺院境内清掃）

令和四年五月十一日（水）
妙楽寺にて身施を行う。五名参加
原田宗明　副住職の法話を聴聞

左端　原田副住職

令和四年十月五日（水）
西光寺にて身施を行う。十二名参加
岡本健　副住職の法話を聴聞
（左上写真中央　岡本副住職）

那珂組門徒推進員物故者

長年にわたり門徒推進員として、浄土真宗のみ教えを広められました故人の方々に謹んで哀悼の意を表します。

那珂組門徒推進員物故者名（敬称略）

村田　瑞子　（光照寺）
原田　貴世人（光照寺）
猪俣　やすよ（光照寺）
大神　トシ子（西光寺）
石橋　泉　（西光寺）
柴田　博通（浄運寺）
山内　啓右（浄運寺）
土居　トミエ（浄福寺）
松本　和子（養行寺）
上田　イヨノ（養行寺）
上田　正治（養行寺）

全員研修会で物故者に捧げられた供花
（令和４年６月２２日（水））

千代山　浄福寺《御遷座式》

令和四年十一月六日新本堂建設の為、本堂から阿弥陀さまをご移動する儀式が厳かに行われた。

浄福寺は一六一六（元和二）年に創建開基、親鸞聖人のみ教えを伝承する聞法道場として四百有余年の歴史が有り、今この時代に新本堂建設の御勝縁に恵まれたことは喜ばしい限りで、令和八年完成を心待ちにしている。

那珂組仏教若婦人会
秋の研修会ボッチャ大会

令和四年十月二十日
浄運寺にて

久し振りの開催にマスクの上からも覗える満面の笑みに声援・歓声と賑やかな大会でした。

領解文

「領解文」は、法話聴聞のあとで、一同そろって「領解出言（りょうげしゅつごん）」といって唱和するご文です。

口語訳文

わたくしは、さまざまな計らいをまじえた自力の心をなげ捨てて、「阿弥陀如来よ、わたくしの来るべき浄土往生の一大事について、あなたの救いの働きにおまかせします」と、ただ一心に頼みにいたしております。

如来におまかせしたとき、往生成仏の身と定まり、如来の救いは確定したと信じて、その後の称名念仏は、如来のご恩に報いるものであると、喜びのうちにお称え申しております。

この「信心正因・称名報恩」に道理が聞きわけられたことも、浄土真宗を開かれた親鸞聖人がこの世におでましなされたおかげ、また、その後、代々、教えをひき継がれたよき導き手の方がたのお勧めのおかげであると、ありがたく存じております。

このように念仏申す身となったからには、定めおかれた御きまりは、生涯、守り通す決心でおります。

「解説　礼拝聖典」

浄土真宗聖典普及会編より

みんなの広場

二〇二三（令和五）年四月十三日 親鸞聖人御誕生八五〇年 立教開宗八〇〇年慶讃法要に参拝して

曽根嵜　直美（釈　深心）

御影堂前の大銀杏が、ようこそのお参りをと出迎えてくれました。

この地に本願寺が再建されてまもなく植えられた銀杏は樹齢四百年にもなります。

日々朝な夕なに南無阿弥陀仏と唱える声を聞き、地に根を張り地上では陽の光を受け空を仰ぐように、大きく枝を広げて立っています。秋には黄金色に、冬には葉を落とすけれど、また春には芽吹き蒼き葉を繁らすのです。

御影堂前の大銀杏

親鸞聖人が「教行信証」に浄土真宗の進む道を示されて八百年、長い歴史には様々な事が有りましたが、現在まで本願寺は浄土真宗のみ教えを守り伝えてきました。おかげで私は親鸞聖人のご影像の前で尊いみ教えを喜ぶ幸せの身にならせて頂きました。

このご勝縁に深く感謝致します。

さて、門徒推進員になって来年で十年、現代社会に生きる私達がお念仏を、み教えを、次の世代に伝え広めるには、大変厳しい時代を向かえているように思われます。

今まで通りと云うわけにはいかないのです。

考え、気付き、行動する、時に自身を振返りながら信仰を原動力として…境内の銀杏が大きく枝を広げるように浄土真宗の繁栄の一助となりますよう、日々努力する次第です。

御真影（ごしんねい）を仰ぐ

令和五年十月より連研開催

コロナの影響で長く中止されていました「門徒推進員養成連続研修会（連研）」が新たなカリキュラムで再開されます。

「御同朋の社会をめざす運動（実践運動）」を推進するため、皆様の所属寺に関わらず、仏縁の方々に連研参加を推奨して下さい。

２０２３（令和５）年度
第１６期連続研修会

第１回	2023	10月21日	講義
第２回		11月18日	講義
第３回		12月9日	講義
第４回	2024	1月20日	講義
第５回（１日研修）		2月17日	話し合い法座 レクレーション
第６回		3月9日	話し合い法座
第７回		4月20日	話し合い法座
第８回		5月18日	話し合い法座
第９回		6月15日	話し合い法座
第１０回		7月13日	話し合い法座
第１１回		9月14日	話し合い法座

＊土曜日開催、１回３時間
＊日程の変更あり

那珂組二十九ヶ寺お寺巡り

第二回は『円龍寺』です。

「梅遊山　円龍寺」
住職　髙原　真証師
所在地　福岡市中央区平尾四丁目一―一
（〇九二）五三一―四六四一

令和五年の春も過ぎました。皆様いかがお過ごしでしょうか。当山の山号は梅遊山といいます。

蠟梅を背に黒御影石の寺号

その名の通り、蠟梅・枝垂れ梅・白梅などが、順次咲いて春を告げてくれます。

敷地内の円龍幼稚園には、枝垂れ桜があり、園児も心待ちにしています。

又、玄関に入ると、前坊守の生けた「生け花」が常時飾られ、まさに花の寺といった趣があります。

前坊守の生け花

当山の年中の恒例法要は、春の彼岸・永代経法要・盂蘭盆会・秋の彼岸・報恩講法要と続きます。

春・秋の彼岸法要は住職が法話をさせていただきます。

各法要時は、御門徒たちのご参詣が多くあります。

前述のごとく、当山は平尾にあり、天神に近く大変騒がしいようですが、通りを一本抜けた閑静な住宅街にあり、心落ち着けて、ご参詣いただけます。

どうぞ、お気軽にお越しくださいませ。

御本尊の阿弥陀如来が安置されている本堂

当時、小学生であった前坊守が、福岡大空襲で、降りしきる焼夷弾の中、防空豪に背負って避難してお守りしたとの話し

白梅の下に泳ぐ鯉

幼稚園の枝垂れ桜

令和五年度　行事予定

二月十一日（土）　総会
四月～五月「親鸞聖人御生誕八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」団体参拝
五月十四日（日）　身施　光明寺
六月二十七日（火）　全員研修会
八月二十七日（日）　福岡教区門徒推進員一日全員研修会
十月三日（火）　身施　浄運寺
十月～翌年九月　連研（詳細は三頁参照）
一月九日～十六日　本山本願寺御正忌報恩講
一月二十六日～二十八日　福岡教区報恩講法要

編集後記

皆様方のご協力により「領解」2号を発行することが出来ました。

発行にあたり今更のように親鸞聖人のみ教えを次世代に伝えていくことの難しさ、加えて、門徒推進員の高齢化も進み登録者は年々減少している現況にどう相対すればよいのか、また、今後門徒推進員として法灯の継承、連研や中央教修への参加推奨など、課題は多岐にわたりますが、皆さんとご一緒に考えて行ければと思います。

自由なご意見・ご投稿を募集しています。